

第1回新居浜市水素社会推進協議会議事録

- 日時 平成27年6月16日(火) 15:00～16:25
- 場所 新居浜市役所 5階大会議室
- 出席機関 会員：愛媛大学、新居浜高専、住友化学(株)愛媛工場、住友共同電力(株)、新居浜機械産業協同組合、えひめ東予産業創造センター、新居浜市
オブザーバー：四国経済産業局、愛媛県、伊予銀行、愛媛銀行
有識者：岩谷産業(株)、四国岩谷産業(株)
事務局：新居浜市

○議事次第

- 1 開会 進行：新居浜市経済部産業戦略監
- 2 市長挨拶 新居浜市長挨拶
- 3 議題 進行：会長（新居浜市経済部長）
 - (1) 協議会の設置について
 - (2) 水素エネルギー社会の展望について
 - (3) 今後の進め方・スケジュールについて
 - (4) その他

1. 開会

<産業戦略監>

ただいまから第1回新居浜市水素社会推進協議会を開会いたします。
開会にあたりまして、新居浜市長からご挨拶申し上げます。

2. 市長挨拶

皆様こんにちは、新居浜市長の石川でございます。

本日は、大変お忙しいところ、「第1回 新居浜市水素社会推進協議会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素は、新居浜市政の発展、とりわけ地域経済の活性化に格別のご理解とご協力賜っておりますことに対しまして、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年11月には、水素をエネルギー源とする燃料電池自動車「MIRAI」の販売が発表され、化石燃料を使用しない環境負荷に配慮した次世代自動車として、各方面から期待をされているところでございます。

新居浜市には、別子銅山の歩みとともに、技術開発によって、環境問題を克服し、環境共生型の都市へと発展してきたという歴史がございます。

水素社会の実現という大きな課題に対しまして、現在国を挙げて取り組んでおりますが、その普及には、全国的な水素ステーションの整備をはじめ、輸送・貯蔵に関する技術・コストなど様々な課題がございます。

このような状況の中、本市では、「ものづくりのまち新居浜」としての地域力を結集し、産業振興、地域振興を図るため、本協議会を設置することといたしました。

まず今年度は、協議会を設置し、水素社会、水素関連技術に係る情報の共有等機運を高める場の醸成を図っていくとともに、市としての水素社会推進のための基本構想をとりまとめていき、新たな産業の創出につなげていきたいと考えております。

本日は、ご参加いただいている皆様の知見をいただきながら、水素社会の実現に向けて有意義な会議となりますことを願ひまして、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。

3. 議題

<産業戦略監>

(資料の確認、参加者の自己紹介)

本協議会は公開とさせていただくことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

本協議会の議事を進めます会長については、後ほど協議会の設置について、協議会規約等ご説明いたしますが、新居浜市経済部長が会長に就くような規定の案となっております。

そのようなことから、事務局から経済部長に議事を進めていただく提案をしますが、ご異議等ございませんでしょうか。

(異議なし)

それでは、寺村経済部長、議事進行をお願いいたします。

(1) 協議会の設置について

<経済部長>

それでは、ここから議事進行を務めさせていただきます。

まず、議題1.「協議会の設置について」事務局からご説明願ひます。

<事務局>

資料1により協議会の設置に係る「背景及び目的」、「参加機関」、「検討課題」について説明。

「新居浜市水素社会推進協議会規約（案）」について説明。

<経済部長>

ただいま事務局から協議会の設置について説明がありましたが、なにかご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

（質問・意見等なし）

ご異議がなければ、これで協議会が設置され、協議会規約の（案）をとっていただきますようお願い申し上げます。

協議会規約もご承認いただいたことから、ただ今より本協議会の会長として進行を務めさせていただきます。

（2）水素エネルギー社会の展望について

<会長>

次に、本協議会に外部の有識者としてご出席いただいております岩谷産業株式会社様から「水素エネルギー社会の展望について」というテーマで、水素に係る先進的な取り組みや今後の課題等について、プレゼンテーションしていただきます。

岩谷産業株式会社水素エネルギー部シニアマネージャー梶原様、よろしく申し上げます。

<岩谷産業㈱>

パワーポイント（資料2）により説明。

<会長>

ありがとうございました。

「水素エネルギー社会の展望について」というテーマでお話いただきましたが、この件について何かご質問等ございませんでしょうか。折角の機会ですので何かございましたらご質問お願いいたします。

<愛媛大学>

面白い話をありがとうございました。

いくつかありますが、まず1つ目、水素需要として150億Nm³とあるが、これは副生水素として現在、このくらいの能力があるのでしょうか。

<岩谷産業㈱>

副生も一部ありますが、化石燃料から作っているものもあります。

<愛媛大学>

全体の需要はこれくらいとして、実際に作れる能力はどれくらいありますか。

<岩谷産業㈱>

おそらく倍ぐらいはあるかと考えております。

<愛媛大学>

今ぐらいの供給能力で、例えば 2030 年に家庭用エネファームが 7 万台が 530 万台になると書かれています、それが賄える量と考えていいのでしょうか。

<岩谷産業㈱>

エネファームの 530 万台は、水素そのものではなくて LPG とか天然ガスを原料に一旦、水素に変えて使っているもの。2030 年に水素発電といったものが本格的に導入されれば、最大で 220 億 m³ とかいった試算もあることからそれでは足りなくなってくることも考えられ、そうなれば海外から輸入するという可能性もあります。

<愛媛大学>

例えば国産で 2030 年ぐらいに出てくる水素量全部作り出せる技術が向上するなど、できそうですか。やはりそこは輸入に頼らざるを得ないのでしょうか。

<岩谷産業㈱>

作り方としてはあると思います。例えば水の電気分解とかいろんな方法がありますので、ただ、それが経済的にできるかどうかといったところが問題だと考えております。海外から持ってくる方が安ければやはりそちらからという話になるかと思えます。

<愛媛大学>

今、水素自動車に充填した時、1 回の充填で価格はいくらぐらいでしょうか。

<岩谷産業㈱>

今水素を空から満タンにすると約 5kg 入ります。各社でそれぞれですが弊社の場合、1 kg 税抜きで 1100 円で販売しております、5500 円ということになります。

<愛媛大学>

5500 円でペイするぐらいの値段なんですか。

<岩谷産業㈱>

しません。この価格設定というのは今の時点で稼働率が低いですからコストを積み上げていくとかなり高くなってしまいます。今は車の普及を後押しするというのが一つの目標ということもありましてそういう価格に設定しております。ちなみに満タン 5500 円というのはハイブリッドの車と同等の価格なのでかなりメリットは大きいと思われれます。

(3) 今後の進め方・スケジュールについて

<会長>

それでは、本協議会の今後の予定等について、事務局から説明願います。

<事務局>

資料 3 により協議会の年間スケジュール、次回セミナーの予定等今後の進め方について説明。

<会長>

今後の予定等に関し、何かご質問・ご意見等ございませんか。

(質問・意見等なし)

(4) その他

その他、本日の議事全般について、再度ご意見等ございませんでしょうか。

(意見等なし)

まだ、第1回目ということで、内容も難しいところもありますが、これから話を進めていく中で皆様のご理解を深めて、新居浜市の水素社会の実現に綱が手間知りたいたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

以上をもちまして、第1回新居浜市水素社会推進協議会を終了いたします。

第2回へ向けての調整等、事務局から随時お願いすることもあるかと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。